

環境への
取り組み

「エコロジカル・バランスタウンつる」の推進

■「エコロジカル・バランスタウンつる」

「エコロジカル・バランスタウンつる」とは、豊かな「環境」を守り、育て、そして未来の子どもたちに継承するとともに、地域資源を活用し、健康的で環境の持続性を大切にする市民のライフスタイル

ルを確立する中で、環境をテーマとする地域産業の振興につなげる、本市の「まちづくり」のことをいいます。

ここでは「環境への取り組み」として、「エコロジカル・バランスタウンつる」を構成する、計画や施設、インターネットサイトなどを紹介していきます。

森林資源などの有効利用。

■バイオマスタウン構想

都留市は、2月26日に農林水産省からバイオマスタウンに認定されました。これは、森林荒廃や農作放棄地の拡大を食い止め、地球環境にもやさしいまちにすることを目的に策定した「都留市バイオマスタウン構想」に基づくものです。そして、この構想は、市民や事業者、有識者、NPO、また、学生なども参加した「都留市バイオマスタウン推進地域協議会」において検討・策定されたものです。

バイオマスタウンとは「地域において、様々な立場の方が集まり協力しながら、動植物から生まれた再生可能な資源であるバイオマスを、無駄なく有効的に活用しているまち」のことを言います。この構想には、森林資源を利用したエネルギーの活用や、廃棄物の有効活用などが盛り込まれています。

この構想によって木材の活用方法が生まれると、利用価値の生まれた林の間伐が促進され、森林に草木が生え、災害に強い森になります。また、切られた木はエネルギーとして利用されるようになるため、化石燃料の使用が抑えられます。

そして、エネルギーを生むために発生した二酸化炭素は、再び木の生長に使われるため、地球温暖化を抑える効果もあります。

このように、この構想には、自然環境と産業発展のバランスを取る「エコロジカル・バランスタウン」を実現させるための方向性が盛り込まれています。



■都留市バイオマスタウン推進地域協議会のようす

